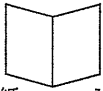
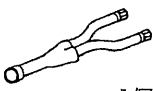
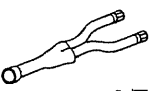

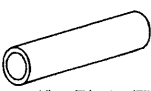
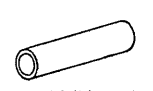
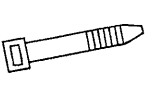
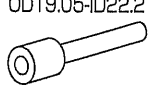
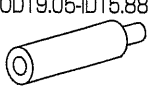


MITSUBISHI

三菱電機 **ビル用** マルチエアコン 別売部品合流管セット(CMY-R160-FA) シティアマルチ R2シリーズ **2管式冷暖同時マルチ**

取 付 説 明 書

1) 箱の中には下記の物が入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書	②合流管(小)	③合流管(大)	④カバー1	⑤カバー2	⑥カバー3	⑦バンド	⑧レデューサ1	⑨レデューサ2
								
本紙 1個	1個	1個	2個	ガス側用1個	液側用1個	8個	1個	1個

1) 上記以外に次のものを現地にて手配してください。①断熱材シール用テープ ②冷媒回路用延長パイプ

2) 下記のことにご注意して作業を行ってください。

- 室内ユニット側配管接続口1口当りの最大接続可能室内ユニット容量は、室内ユニット形番合計でP90までです。室内ユニット形番合計がP90を超える場合に合流管セットを利用して2口の回路を合流してご使用ください。
- 1回路の接続口に複数の室内ユニットを接続する場合（最大3台、形番合計P90以下は1口、P91以上P280以下は2口）は別売の分岐管（CMY-Y102S-D）をご使用ください。この場合、同一接続口に接続した各ユニットの運転モードは、同一となります。（冷暖房を同時に出来ません。）
- 合流管と現地配管、又は、合流管と分流コントローラー本体との接続は図2を参照して実施してください。
- 配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないようにしてください。ロウ付は、無酸化ロウ付してください。
- 冷媒配管には全て、断熱材を施工してください。
- ガス側レデューサの選定
下流側に接続される室内ユニットの合計容量により、下表にて選定ください。

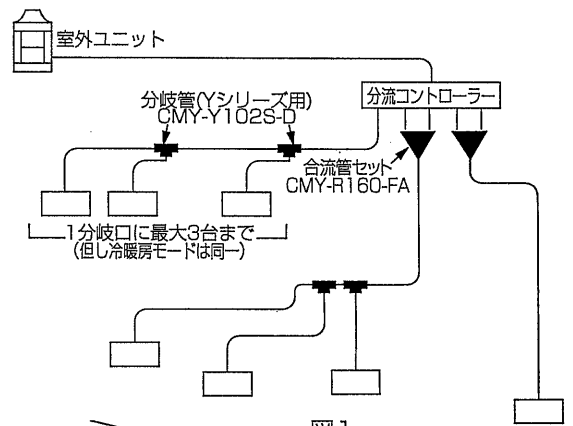


図1

室内ユニットの合計容量	レデューサ
P160以下	OD19.05-ID15.88
P161~P224	-
P280	OD19.05-ID22.2

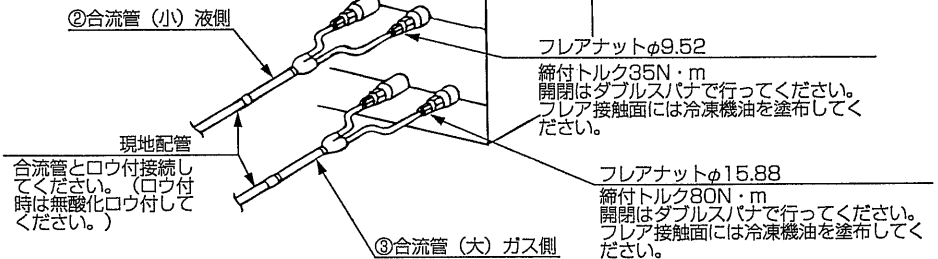
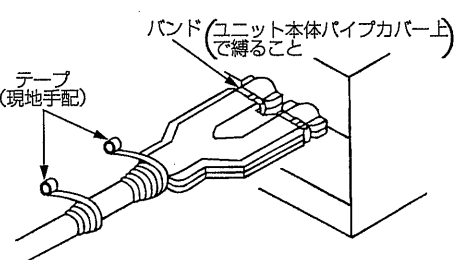
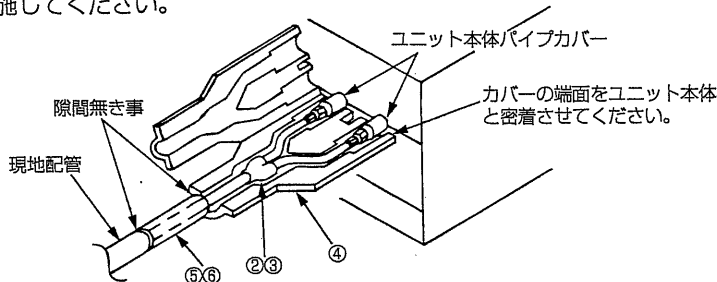


図2

3) カバー（断熱材）の取付作業

現地配管・室内ユニット・分コン・室外ユニットを接続後、気密テストを行い、漏れがない事を確認した後、下記のように断熱工事を実施してください。



- 上図のように⑤〈カバー2〉・⑥〈カバー3〉を巻きつけた後、④〈パイプカバー1〉の内面に張りつけてあるハクリ紙を剥がし②〈合流管(小)〉・③〈合流管(大)〉を④〈パイプカバー1〉ではさみ込むようにしてください。
注)⑤〈カバー2〉・⑥〈カバー3〉は長さを十分にとっています。余分な分を切断してから使用してください。

- 現地配管カバーとの突合わせ部分はテープ（現地手配）にてシールし、重なり部分は上図のようにバンドで縛ってください。
注)1.パイプとパイプのつなぎ目は確実にカバーで覆ってください。
2.シールが不完全ですと露たれの原因となりますので、確実なシールをお願いします。